

中央区人権啓発  
連絡会議だより

# こころ

発行  
中央区  
人権啓発連絡会議  
事務局  
中央区総務部  
生涯学習推進課  
(☎718-1068)

## 心がモヤモヤ「マイクロアグレッション」 〜私もしてしまうかも? ほめたつもりの小さな攻撃〜

「お箸の使い方が上手ですね!」  
「そうですか。ありがとうございます」  
「……」

友達の紹介で会った外国人との  
会話のひとコマです。

こちらはほめたつもりですが、  
相手は微妙に困ったような顔で、  
あまり嬉しそうではありません。  
そんな経験はありませんか?

悪気や不快にさせる意図は全  
くないけれど、何気ない言葉や行  
動で相手を微妙に傷つけてしま  
うことを「マイクロアグレシヨ  
ン(小さな攻撃)」といいます。

冒頭の場面、言われた側は「日  
本に住んで随分長いんだけどな  
あ……」と戸惑い、モヤモヤし  
ているのかもしれない。

この「マイクロアグレシヨ  
ン」は、誰でもしてしまう可能性  
があります。

それは、私たちには子どもの頃  
から形成されてきた「無意識の思  
い込みや偏見(アンコンシャス・  
バイアス)」というものがあるか  
らです。

外国の人に「お箸が上手です  
ね」とほめる心には、「外国の人は  
お箸をうまく使えない」という、  
自分でも気づかないうちに根付  
いてしまった偏りのある感じ方・  
考え方があるのかもしれない。

このような思い込みは、誰もが  
持っているものなので、自然にそ  
れが言葉や行動に出てしまい、  
「マイクロアグレッション」に

なってしまう、というわけです。

このような無意識の思い込み  
や偏見を減らすことにつながる  
ような動きが、近年みられるよ  
うになりました。

たとえば、多くの人が見るテレ  
ビCM(コマーシャル)。

調べてみると、1970年代か  
ら90年代には、洗剤、掃除機、  
洗濯機、炊飯器など、家庭用品の  
CMに登場するのは、ほとんどが  
女性でした。

子どもの頃から、そのようなC  
Mを毎日のように見て育った世  
代には、無意識のうちに「家事は  
女性の仕事」という思い込みや偏  
見が育っているのかもしれない。

そのことが、「男性なのに家事  
をするなんて偉いね」といった、  
言われた側が戸惑いそうな「ほめ  
言葉」を生む元になるのです。

では、最近はどうでしょうか。  
男性が起用された家庭用品の  
CMをよく見かけるようになって  
たと思いませんか。

これらを見て育つ子どもたち  
には、「家事は女性がするもの」と  
いう意識は育ちにくいかもしれ  
ません。

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

や偏見があるのだ」ということを  
受け止めてみてはどうでしょう。

そのうえで「自分はマイクロア  
グレッションをしてしまう可能  
性がある」と思っておくのです。  
そうすると、会話の後に「もし

かしたら、今のはマイクロアグレ  
ッションだったかもしれない。」  
という気付きにつながり、「次か  
らは気を付けよう」と意識するこ  
とができます。

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

## 中央区人権啓発連絡会議 主催 令和4年度 中央区人権を考えるつどい

### 「一人芝居先生のメッセージ」 演者 福永 宅司さん トークと笑って泣いての一人芝居「学校」 (山田洋次監督作品より)

令和4年9月20日(火)、中  
央市民センターにおいて、「中央  
区人権を考えるつどい」を開催  
しました。



【福永宅司さん】

元小学校教諭で、現在はフリ  
ースクールの運営や、「一人芝居  
活動家」として活躍の福永宅  
司さんに、前半はユーモアたっ  
ぷりの「トーク」、後半はお一人  
で何役も演じる白熱の「一人芝  
居」を届けていただきました。

「ぬくもりのある人権のまち  
づくりを目指して」と題したト  
ークでは、自宅を拠点に開設し  
た、不登校の子どもたちを支え

るフリースクール「みんなの学  
び館」の活動を紹介されました。  
また、「人権を身近なところか  
ら考えてみましょう。たとえば、  
家族に『ありがとう』と伝えてい  
ますか。こんな小さな積み重ね  
が人権問題の解決につながりま  
すよ」と笑顔で語られました。

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆



◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

## 第51回 福岡市人権を尊重する市民の集い

### 働く幸せ実現のために「社員から教わったこと」 日本理化学工業株式会社 代表取締役社長 大山 隆久さん

令和4年12月7日(水)、福  
岡市人権尊重行事推進委員会主  
催の「人権を尊重する市民の集  
い」(中央市民センター)にお  
いて、日本理化学工業株式会社  
代表取締役社長の大山隆久さん  
が講演されました。



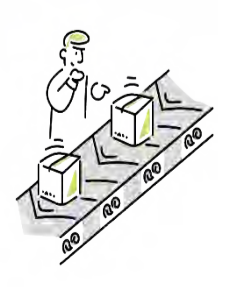
【大山隆久さん】

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆

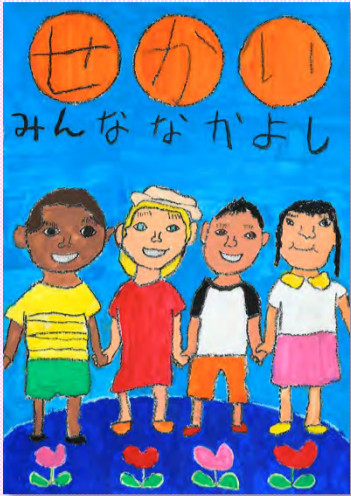


◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆  
◆ ◆ ◆



# 人権尊重週間 入選作品

12月4日から10日の人権尊重週間にあわせて、福岡市が募集した標語やポスターのうち、中央区内の入選作品をご紹介します。(順不同)



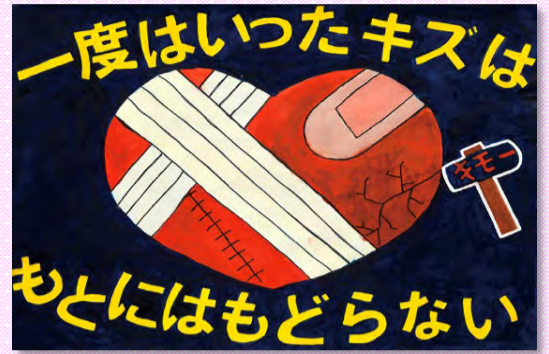
当仁小学校 2年 上谷チャールズさん



高宮小学校 3年 李天心さん



当仁小学校 3年 横尾望七さん



赤坂小学校 6年 湯元風羽南さん



小笹小学校 3年 葛西琴さん



赤坂小学校 4年 園和香那さん



草ヶ江小学校 6年 下川二葉さん



赤坂小学校 6年 相浦蓮介さん

**相談しよう**  
悪いのは  
いじめられてる  
あなたじゃない  
警固中学校 3年 今中あず沙さん

**イジメも差別も**  
見てみぬふりする  
君は共犯者  
草ヶ江小学校 6年 大和こはねさん

**文字を打つ**  
あなたの指が  
凶器だよ  
当仁小学校 5年 宮崎理咲子さん



赤坂小学校 6年 小山夏輝さん



赤坂小学校 6年 羽迫大展さん

**編集後記**  
「コロナ禍」で日常が大きく変わったことの一つに「距離」があります。三密回避による物理的距離だけでなく、親しい人と会えないことで、「心の距離」が生じてしまいました。コロナ差別や孤独、孤立などの問題を考えると、人のつながり、ふれ合い、絆が、生きる支えになる大事なものだということに、改めて気づかされました。「コロナ禍」の生活も4度目の春を迎え、少しずつですが、以前の日常を取り戻しつつあります。引き続き、感染対策に気を付けながら、長く会えずにいる大切な人や、親しい仲間、友人たちとの距離が縮まっていくことを心から願っています。「そういえば、ご先祖様にもご無沙汰だな」と思い、先日お墓参りへ。コロナで日が空いたことを詫言いつつ、ろうそくの灯を消そうと手であおいだとき、指を墓石に強くぶつけてしまいました。「先祖への無沙汰にコロナは関係ないぞ」と叱られたのかもしれない。改めて無沙汰を詫言るとともに、体を動かすときは、周囲の人やものとの「距離」に気を付けなければ、と文字どおり「痛感」を付けながら、長く会えず

- 中央区人権啓発連絡会議  
構成機関・団体(順不同)
- 中央区人権啓発連絡会議は、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目指し、「中央区人権を考えるつどい」の開催や街頭啓発の実施、広報紙「こうろ」の発行など、人権を尊重し人の多様性を認め合う明るく住みよいまちづくりの実現に向けて活動しています。
  - 中央区校区自治協議会等代表者会
  - 中央区人権啓発地域推進組織
  - (校区地区人権尊重推進協議会 14 団体)
  - 中央区体育振興連絡会
  - 中央区交通安全推進協議会
  - 中央区青少年育成連絡会
  - 中央区民生委員児童委員協議会
  - 中央区老人クラブ連合会
  - 中央区公民館長会
  - 中央区小学校長会
  - 中央区中学校長会
  - 中央区中学校PTA連合会
  - 中央区子ども会育成連合会
  - 福岡市身体障害者福祉協会中央区支部
  - 中央保護区保護司会
  - 中央区男女共同参画連絡会
  - 中央区役所